

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:2022年 9月 13日

事業所名:エントランスリパティ

サービス種類:(児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	安全な運動空間の確保と感染対策・消防法に基づき、同時間帯・同フロアの利用者数は1~6名まで	はい:61 どちらともいえない:5 いいえ:0 わからない:2 (回収68)	現状維持
	2 職員の適切な配置	子ども4~6名に対し3~4名の職員配置 個別では作業療法士が、集団では保育士がリーダーとなって療育を行う。療育前後にはミーティングを実施し、子どもの対応を確認。	はい:64 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:1 (回収68)	現状維持
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	安全に遊ぶための情緒のコントロールの工夫として必要時には消灯や音楽などで環境調整し、クールダウンを図っている。 視覚的にわかりやすい教示の配慮。	はい:63 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:4 (回収68) 準備や帰り支度がイラストで分かりやすく示されている	現状維持
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	共有で使う遊具やおもちゃは、子どもが交替するときに洗浄またはアルコール消毒を徹底。コロナ以降は空気清浄機を使用。	はい:68 (回収68)	現状維持
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月1回のスタッフミーティングを通して、事業所の療育について振り返り、対応に困る子どもの状況等問題を共有し合い、解決に向けての対策立案		ミーティングに出られないスタッフにも伝わるように記録を作成し、周知を徹底する
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		必要であれば今後検討
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	県や他事業所からの研修のお知らせを周知 療育前後に子どもの行動について解釈し、共有		現状維持
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	初回利用時~当月中に作成 利用ごとに再評価と問題点の整理(面談とノートにて確認)	はい:67 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0 (回収68)	子どものアセスメントを実際の生活場面に照らし合わせて伝えるようにし、子どもの発達段階に合わせて課題について保護者の理解を深める。また子どもに合わせた関わりとその効果について気づきを深める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別療育・集団療育・個別と集団の並行など、子どもが参加している内容に合わせて作成する		現状維持
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	初期評価のときに目標と目標達成に向けた課題を整理して記載	はい:64 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:3 (回収68)	現状維持

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	管理者の指導、見守りの下、どのスタッフが対応しても支援計画に基づいた支援を行い具体的な目標行動に導くことができる	はい:64 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:1 (回収68)	現状維持
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	個別療育は個別支援計画に基づいて活動プログラムを立てる 集団療育はグループ全体の支援計画+個別的配慮をしてチームで活動を組み立てる	はい:64 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:1 (回収68)	現状維持
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇前に工作でスケジュールボードを作成し休暇中に活用できるように提案する。 宿題・学習サポート・縄跳び教室・音楽活動などイベントを開催	・毎回色々な工作を持ち帰ってくる ・支援内容に沿いながらも子どもの意見を取り入れ、前向きに取り組めるようになっていると思う。 ・グループは毎回趣向を凝らした工作などして頂き感謝しています。個別は割と毎回同じような感じかな、という印象です。子どもの興味が偏っているからというのもあるかもしれません	現状維持
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	お子さんの成長やその時の調子に応じて、プログラムの進め方および、活動内容の変更、修正		現状維持
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	対応するスタッフは療育時間の前に対象者の支援計画および指導記録を確認 グループでは当日の活動について事前に役割分担や配慮する子どもへの対応の確認		現状維持
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	個別療育ではその都度実施 集団療育では活動後のミーティングで実施 必要があれば個別に保護者に報告し、療育以外の場面での様子を確認して子どもへの対応を共有		現状維持
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	療育中もしくは療育後に子どもの行動とスタッフの支援を記録する日報の作成 すべてのスタッフが一通り気づいたことを記録し情報を共有		現状維持
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回モニタリングを行い目標の達成度と今後の課題について保護者と確認 個別療育から集団療育に移行する利用者には改めて集団での目標設定を保護者と確認		現状維持

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議が開催される時には可能な限り出席し、スタッフとも情報を共有		現状維持
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし		必要あれば今後検討
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし		必要あれば今後検討
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要な場合、利用者からの希望に応じて		積極的に対応したい
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要な場合、利用者からの希望に応じて		積極的に対応したい
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	スタッフに必要な研修は周知し、参加を奨励		現状継続
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナの感染拡大により実施できず	はい:10 どちらともいえない:4 いいえ:14 わからない:40 (回収68) ・訓練型なので、特に希望もありません ・放デイの中でその時間はないと思うけど、学校生活の中でその辺は出来ているのでそれを放デイに求めてないです ・幼稚園に通所しているので個人的に困ることはない	今後検討していく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナの感染拡大により実施できず		今後検討していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	体験会、初回評価時の重要事項説明にて実施	はい:66 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:0 (回収68)	今後も丁寧に説明していく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別療育時には毎回面接を実施 集団療育では年2回の懇談会を実施	はい:65 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:2 (回収68)	必ず説明しているが、初回利用の場合は書類が後になる場合がある
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	個別療育時には毎回面接を実施 集団療育では年2回の懇談会を実施したり送迎時に保護者と話せる時間を作っている ペアレントトレーニング開催に向けて研修中	はい:42 どちらともいえない:12 いいえ:2 わからない:12 (回収68) ・自宅であることを提案してくれる ・連絡帳を活用したり担当の先生とお話する時間を設けられているので話がしやすいと思う	コロナの為リバティカフェの開催が減っている 感染状況を見ながら開催を検討
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	個別療育時には毎回面接を実施 集団療育では年2回懇談会を実施したり送迎時に保護者と話せる時間を作っている。 それ以外の個別の相談は随時受付	はい:61 どちらともいえない:5 いいえ:0 わからない:2 (回収68) ・送迎時に先生と話すことができる	個別の相談が必要な際には、予約をとって事業所内相談支援が可能なことを懇談会で伝えていく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	個別療育時には毎回面接を実施 集団療育では年2回懇談会を実施したり送迎時に保護者と話せる時間を作っている。 必要な場合には個別に面談を行う	はい:59 どちらともいえない:8 いいえ:0 わからない:1 (回収68) ・懇談会や必要な時に面談をしてくれる	個別の相談が必要な際には、予約をとって事業所内相談支援が可能なことを懇談会で伝えていく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	集団療育では年2回懇談会を実施 必要に応じてグループの際に保護者同士が話し合える場所の提供	はい:30 どちらともいえない:12 いいえ:4 わからない:22 (回収68)	コロナの感染状況を見ながらリバティカフェの開催を検討
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情処理対応について、連絡先・対応・手順など掲示	はい:37 どちらともいえない:5 いいえ:0 わからない:26 (回収68) ・苦情を出したことがないので分からないけど、恐らく適切に対処してくれると思う ・今までに苦情に繋がるようなことがない	連絡帳への記載や面接でご要望があればその都度対応し、電話でフォローを行う。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要に応じて視覚情報(カードや写真)を使用し分かりやすく伝える	はい:61 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:4 (回収68)	現状維持
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的ではないが、イベントのお誘いや活動の近況をSNSでお知らせ	はい:38 どちらともいえない:6 いいえ:2 わからない:22 (回収68)	SNSで発信していることを保護者に周知 SNSを積極的に利用していない方に対しての発信について今後検討
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	全職員対象に個人情報保護の誓約書取り交わし	はい:59 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:8 (回収68) ・注意されていないと感じたことがない	現状維持

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	感染症対策・洪水等水害時・事故の想定と発生時の対応マニュアルの作成 集団療育懇談会の時に災害発生時の避難場所と対応について説明	はい:63 どちらともいえない:1 いいえ:1 わからない:3 (回収68)	初回の契約、重要事項説明の時にお知らせし、連絡帳に災害発生時の避難場所の地図を貼る(継続) 訓練した時には連絡帳でお知らせ
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練2回/年 集団療育の時に実施	はい:51 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:16 (回収68)	集団療育では2回/年シェイクアウト訓練を行う 個別療育では時間の制限があり、保護者同席でもあるため、実施する予定なし 避難場所の周知を行う
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	月1回虐待防止委員会を開き職員の意識を高める 虐待リスクのある事例について対応を周知		現状維持
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	パニックや感情のコントロールができなくなった時に、子ども自身、他児に危険がある場合、ものを壊す危険がある場合に大人が身体をとめる、抑えるなどの対応をしたときには、保護者に報告する		保護者に電話または直に報告する 対策について保護者と検討する
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事提供なし		現状継続
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があればミーティングで事業所内スタッフで共有し、法人に報告		現状継続

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	子どもの興味関心を引き出し、自ら遊びを楽しめるよう支援することを目標としている。子どもの発達段階に合わせて達成できる課題を提供している。	はい:62 どちらともいえない:4 いいえ:1 わからない:1 (回収68) 「リバティ」と言うと楽しみに準備しています。	現状継続
	2	事業所の支援に満足しているか	保護者の困り感に寄り添い、子どもの成長と家族との生活をサポートできるよう幅広い視点で支援している。	はい:64 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:1 (回収68)	現状継続